

令和5(2023)年3月17日

独立行政法人都市再生機構

株式会社 JTB

## 『キモチ、あつまるプロジェクト』 福島被災地域の復興支援を考える 学生向けツアーを開催

まずは来て見て、想いをシェアして。ふくしま浜通り 未来へのまちづくりスタディツアー

独立行政法人都市再生機構(以下「UR」)は、受託者株式会社 JTB(以下、「JTB」)とともに、福島県浜通りの原子力災害被災地域で復興に携わる方々と出会い、フィールドワーク等を行う、学生向けスタディツアーと事前オリエンテーションを実施します。

福島県浜通りの原子力災害被災地域では、徐々に避難指示が解除され人が戻りつつあります。昨年、特定復興再生拠点区域の避難指示解除により、全町避難が最も長く続いていた双葉町でも、約11年半ぶりにかつての中心市街地で居住が可能となりました。しかし、長期間にわたる避難生活を背景に、町が目標とする人口になかなか戻らないこと等が課題となっています。

これら課題解決に向け、URは復興拠点整備等のハード整備だけではなく、交流人口・関係人口の創出・拡大や中心部の賑わい・交流づくりに向けて、地域プレイヤーの発掘・連携、関係者を巻き込みながらの実証活動を軸に、ソフト支援にも取り組んでいます。

その一環として、これからの未来を歩む世代が被災地域のことを知り、復興に関心を持ち、行動する一つのきっかけ作りとなるよう、学生向けのスタディツアーと事前オリエンテーションを実施します。

### スタディツアー概要

- 日程:2023年8月29日(火)~31日(木) (2泊3日)
- 旅行代金:0円 ※詳しくは公式サイトよりご確認ください。
- 募集人数:20名
- 参加資格:学生(18歳以上の4年制大学の在学生のほか大学院生、専門学校生等)
- 募集期間:2023年3月17日(金)~6月30日(金)
- 申込方法:公式サイトからお申込みいただけます。 <https://kimochi-atsumaru-project.jp>
- 訪問先・滞在先:福島県大熊町・双葉町・浪江町
- プログラム内容(予定):地域で復興に携わる方々との座談会・交流会、  
URが行う復興まちづくり支援の現地フィールドワーク  
復興へ向けたワークショップ など
- プロジェクト後援:復興庁、福島県
- 旅行企画・実施:JTB 福島支店



### 事前オリエンテーション概要

スタディツアーに先立ち、事前オリエンテーションとして、ツアーの企画内容のご紹介や地域で復興に携わる方々の講演会を開催します。(詳細は別紙をご覧ください。)

- 日時:2023年6月3日(土) 第1部:15時~16時30分予定 第2部:18時~19時30分
- 開催方法:1、2のいずれかでご参加が可能です。  
1. Live ビューイング(クラフトビレッジ西小山) 2.Live 配信(ZOOM/ズーム)
- 参加費:無料 ※視聴のための通信費や西小山までの交通費等は参加者にてご負担ください。
- 申込方法:公式サイトからお申込みいただけます。 <https://kimochi-atsumaru-project.jp>
- 内容:・スタディツアーの紹介、講演会、交流会、座談会  
・福島の復興や地域の取り組みについての講演会 など  
(CANDLE JUNE 氏、舞木勝 氏、馬場立治 氏、官林春奈 氏)

※スタディツアーやオリエンテーション内容は変更となる場合があります。詳細については公式サイトで随時ご案内していきます。

## <参考> URが行う原子力災害被災地域における復興まちづくり支援

### ●支援3町における主な取組み

#### ■大熊町

- ・下野上地区の復興拠点整備(町から受託)
- ・地域活動拠点「KUMA・PRE」をフィールドとする関係人口の拡大やまちの活性化に向けた各種実証の取組み



KUMA・PRE

#### ■双葉町

- ・双葉駅西側地区の復興拠点整備(町から受託)
- ・双葉駅東エリアにおける既存ストック活用による賑わい再生に向けた取組み



ちいさな一歩プロジェクト

#### ■浪江町

- ・浪江駅周辺地区における復興拠点整備(町から受託)
- ・駅前交流スペース「なみいえ」の運営や賑わいイベントの実施・協力



キャンドルナイト in なみえ

### ●復興支援地図



※復興まちづくり支援の具体的内容は、

下記 URL をご参照ください。

<https://www.ur-net.go.jp/saigai/index.html>



### 【UR 都市機構】

UR 都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955 年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



### 【株式会社 JTB】

JTBグループは、旅行のお客様のみならず、企業や地域など、様々なお客様と正対しています。いずれのお客様に対しても「つなぐ、つなげる」ことを通じて、「旅で人生を豊かに」「コミュニケーションで企業を元気に」「人流創造で地域を活性化」することをめざしています。同時に、お客様同士を「つなぐ」ことで、より大きな社会課題の解決にも挑戦しています。

<https://www.jtbcorp.jp/jp/>

(お問い合わせ先)※9:30～17:30 ※12/30～1/3 及び土日祝休

#### ■本プロジェクトに関するお問合せ先

UR都市機構 震災復興支援室 企画課 上片平(かみかたひら)・輿水(こしみず) (電話)045-650-0380  
JTB 福島支店 (電話) 024-523-3314

#### ■報道関係の方からのお問合せ先

UR都市機構 震災復興支援室 企画課 上片平(電話)045-650-0380  
広報室 広報課 (電話)045-650-0887  
JTB 広報室 (電話)03-5796-5833

**『キモチ、あつまるプロジェクト』**  
**福島被災地域の復興支援を考える**  
**学生向けツアーを開催**  
 まずは来て見て、想いをシェアして。ふくしま浜通り 未来へのまちづくりスタディツアー

**【事前オリエンテーションの開催について】**

- 日時 2023年6月3日(土) 第1部:15時～16時30分 / 第2部:18時～19時30分
- 参加資格 第1部 :どなたでも参加可能  
 第2部 :第1部(下記、参加方法①Live ビューイング)に参加した方

●参加方法 ①Live ビューイング  
 開催場所:クラフトビレッジ西小山  
 申込方法:公式サイトからお申込みください。 <https://kimochi-atsumaru-project.jp>  
 申込定員:最大30名(定員を超えるお申込みの場合には抽選とさせていただきます。)  
 申込期間:2023年3月17日(金)～2023年5月19日(金)  
 最終案内:開催から1週間前を目途にメールにてご案内いたします。

②Live 配信  
 配信方法:ZOOM(ズーム)  
 申込方法:公式サイトからお申込みください。 <https://kimochi-atsumaru-project.jp>  
 申込定員:人数制限なし  
 申込期間:2023年3月17日(金)～2023年6月2日(金)




●第1部 スタディツアーのご紹介と講演会(15時～)

<タイムテーブル>

※途中休憩あり。途中参加・途中退場可能

開会挨拶 企画紹介 (10分)	UR 震災復興支援室
復興講演会 (40分)	<p>講演者によるトークセッション 復興への関わり・想いについて、次世代を担う学生へのメッセージ</p> <p>CANDLE JUNE さん(双葉郡の復興に携わる) (一社)LOVE FOR NIPPON 代表。災害地域を訪問してニーズを確認し「できることは全部やる」を掲げ、おたがいが笑顔になってもらうための活動をおこなっています。</p>
※講演会終了後に5分間の休憩	<p>舞木勝 さん(双葉郡出身) 小学校から社会人になるまで双葉町で過ごす。まちや建物のハード面のみならず、1人でも多くの方に笑顔になっていただけるように取り組んでおります。</p>
	<p>馬場立治 さん(双葉郡へ移住) 浪江町をはじめ、福島県内の地域企業との商品開発や自治体等のプロモーション活動を多数行っております。</p>



復興講演会 (40分) ※講演会終了後に 5分間の休憩	官林春奈 さん(双葉郡出身)  双葉町に戻ると決めている元町民。町の活性化に協力ができればとの思いで(一社)LOVE FOR NIPPONの一員として記録撮影を担当しております。	
URの復興支援講演(15分)	UR職員による講演	
今後の流れ(10分)	本プロジェクトの今後の流れについてJTBからご説明します。	
質疑・意見交換(10分)	スタディツアーについてのご質問受付や意見交換を行います。 寄せられたご意見はツアーの企画検討に活用します。	
閉会挨拶(5分)	※終了後、アンケートにご協力いただけますと幸いです。	

●第2部 交流会・座談会 -これからの福島の復興について語り合おう！(18時～)

<タイムテーブル>

開会挨拶(5分)	講演者紹介など
座談会(80分)	講演者と座談会 ・講演者と参加者で福島の復興について語り合います。 ・第1部で興味をもったことや疑問などを講演者に直接質問できます。
閉会挨拶(5分)	※終了後、アンケートにご協力いただけますと幸いです。

●備考

- ・第2部には、第1部(参加方法①Live ビューイング)に参加いただいた方のみご参加いただけます(体調、都合等により途中退席された方を含む)。
- ・第2部を含め、クラフトビレッジ西小山では施設外で購入された飲食物の持ち込みは禁止となっています。
- ・クラフトビレッジ西小山にお越しの方は、感染症予防において、東京都のガイドライン等に従ってください。
- ・クラフトビレッジ西小山のLive ビューイングにご参加いただいた方は、第2部として、講演者の方々等との交流会にもご参加いただけます。
- ・福島の食材を使った地元料理(軽食)をご提供させていただきます。

●第1部・第2部の留意点(共通)

- ・事前オリエンテーションにはスタディツアー申込対象外の方もご参加可能です。
- ・スタディツアーへの申込が多数の場合には、事務局にてツアー参加者を選定させていただきますが、参加/視聴方法(Live ビューイング・Live 配信・後日アーカイブ)が選定を左右することはございません。
- ・当日の様子は視聴者の様子も含め、録画、撮影等を行い、今後の広報等で使用いたします。
- ・オリエンテーション内容は変更となる場合があります。詳細については公式サイトで随時ご案内していきます。

【参考】会場:クラフトビレッジ西小山 (<https://craft-village-nishikoyama.com/>)

住所 〒152-0011 東京都目黒区原町1丁目7-8

以上